

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成25年度 第3回短期大学会議教育改革ICT運営委員会 議事概要

I. 日時 平成25年12月25日(水) 11:00~13:00
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 戸高委員長、宮田委員、豊田委員、小棹委員
(事務局 井端事務局長、平田職員)

III. 検討内容

今回は、平成26年度に実施する短期大学就業力コンソーシアムについて募集要項と卒業生アンケート結果について検討し、確定した。

1. 短期大学就業力コンソーシアムについて

(1) 募集要項

今年度委員会での検討結果を踏まえた事務局案をもとに確認を行ったところ、回答する卒業生の対象を卒後2、3年を1年~3年に範囲を広げることにした。

(2) 卒業生アンケート

以下の通り、修正等行うことに決定した。

- ① 「卒業後の進路」を「卒業直後の進路」とする。
- ② 卒業年を2012年3月、2013年3月、2014年3月とする。
- ③ 現在の業種を択一回答とし、システム上でも設定する。
- ④ 職種については複数回答可能とし、「小学校、中学校、養護教員、栄養教員」は現状に照らし、「幼稚園教諭、その他の教諭」とする。また、「警備」を入れる。
- ⑤ 「職場で発揮できていると考える能力」を「職場で発揮できていると思われる力」「自分をもっと身に付けておくべきだったと考えられる能力」を「自分をもっと身に付けておくべきだったと思われる力」に修正し、両項目とも複数回答可とする。
- ⑥ 「その他の学問分野や専門領域に関する知識」は削除する。
- ⑦ 「リーダーシップ」は「チームを統率する力」に修正する。
- ⑧ 各短期大学で独自に設定する項目を「3項目まで」を「5項目まで」とする。

(3) 卒業生への協力依頼ハガキのサンプル

既に実施している運営委員校の内容をもとに検討し、目的の部分をアンケートの目的部分を「今後の短期大学教育をより発展させるため、」とする。

2. 平成26年度の短期大学会議について

中央教育審議会では短期大学の学士課程教育について検討が始まるので、その状況も踏まえながら、今後の委員会で検討していくべきことを確認し、主体性を引き出すための授業に向けた取り組み(教育プログラム、予習復習の徹底、eポートフォリオ活用など)の事例があれば紹介していくことにした。

青山学院短大: manabaを導入しているが活用は全体の7パーセントである。

湘北短大: 科目数を調整してプラットフォーム化した。

山梨学院短大: eポートフォリオを活用しているかどうか確認する。

3. 次回委員会

次回委員会は、4月に開催することにし、各委員の26年度授業予定などがわかる3月頃に日程調整を行い、開催日時を決定することにした。